

キラキラ輝いてます！

# ダンスとの出会いが、自分を変えた！

荻野 拓也さん (西大久保)

## プロのダンサーとして

金曜日の東公民館。軽快な音楽にのって、元氣よく楽しそうにダンスをする子どもたちが目に留まる。サークル「ヒップホップ会」のメンバーである。このサークルの代表を務めるのが今回の主役、荻野拓也さんである。

荻野さんは、公民館で子どもたちにダンスを指導しているほか、ダンススタジオでインストラクターをしているプロのダンサーである。普段は、ダンスの指導だけでなくクラブやショーなどのイベントへ出演もしているが、最近、テレビ番組への出演をはたした。そこで荻野さんは、近頃テレビ番組などを賑わしているいわゆる「オネエ系」の姿でダンスを披露した。「テレビに出演したことで、声をかけてくれたり、応援してくれたりする人が増えた気がします」と荻野さんは、その後の反応を教えてください。

## ダンスが人生を変える！

荻野さんがダンスに出会ったのは高校生のときである。「当時、自分

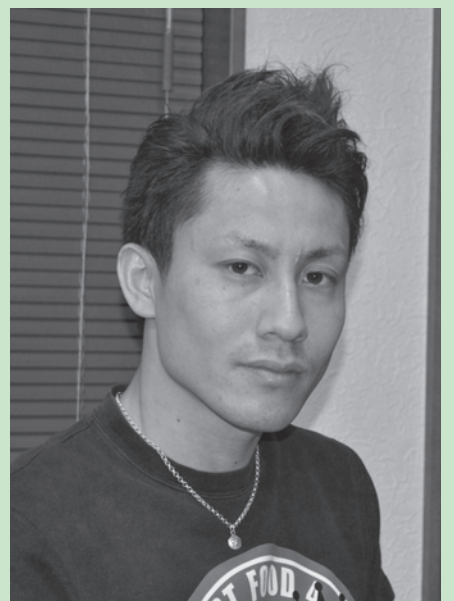
には、これといって取り柄がなく、自分に自信が持てずいました。しかし文化祭のときに、初めて仲間とダンスを踊った

ら、周りから褒められ、初めて人から認められた気がしました」と語ってくれた。それから、現在までダンス一筋。しかし、道のりは決して順風満帆なものではなかったという。

高校を卒業してから本格的にダンスの勉強を始め、ダンスの専門学校に通い、その後はアルバイトをしながらダンスの特訓を繰り返した。「人と同じことをやっているのは、ダメなんです。努力をして実力を上げつつ、人と違ったパフォーマンスを考えなければ、認めてもらえません。今でも葛藤<sup>かつと</sup>続きの毎日なんですよ」と話してくれました。

## 努力と試行錯誤のくり返し

「自分のダンスは、見てくれる人が楽しんでくれることを第一に考えて踊っています。そのためには、仮装や、ブレイクダンスなどできるこ



荻野拓也さん

とは、何でも取り入れるようにしています」と語る荻野さんからは、まさにエンターティナーとして、人びとを楽しませようという真摯<sup>しんしん</sup>な姿勢が感じられた。

## 多くの人を楽しませたい

今後は、ダンスのよさや楽しさをもっと多くの人に知ってもらいたいと荻野さんは語る。しかし、活動の拠点を地元におくことにこだわりがあるという。「自分が子どものころは、ダンスをしたくてもどこへ行ったらいいかわからなかった。そんな子どもたちがいつでも通えるような場所を提供したいんです」と笑顔で語る。

自分の理想とするパフォーマンスに少しでも近づくために日々努力と試行錯誤を重ねる荻野さん。ひとりでも多くの人を笑顔にするために…。



子どもたちにダンスの指導をする荻野さん



テレビ出演時の荻野さん